

赤松先生 おすすめ本

『ブッダの真理のことば 感興のことば』

中村 元／訳 岩波書店 (1978)

『法句経』の名で知られる「真理のことば」(『ダンパマダ』翻訳)、ブッダが感興とともに発したことを記録した「感興のことば」(『ウダーナヴァルガ』翻訳)を収録。人間そのものへの深い反省や生活の指針が風格ある簡潔な句に表されている。

『親鸞和讃集』

名畑應順／校注 岩波書店 (1976)

一切衆生を平等に救うための教えとして日本仏教を庶民のために広め続けた親鸞上人の『浄土和讃』・『高僧和讃』『正像末浄土和讃』からなる「三帖和讃」と、聖徳太子を讃える和讃二作を収録。厳密な校訂と親切な注釈が施されている。

『新編 東洋的な見方』

鈴木 大拙／著 上田 閑照／編 岩波書店 (1997)

全てを分ける二元性に支えられた西洋思想とは異なる「東洋的な見方」を提示し、仏教の叡智に立った思想を展開した鈴木大拙。彼の最晩年のエッセイを集めた『東洋的な見方』と同時期の文章が再構成されている。

『日本浄土教の世界』

竹村 牧男／著 大東出版社 (2012)

日本浄土教の本質を指摘しながら、法然聖人や親鸞聖人といった思想者の言行を辿ることによって、その思想の深化の過程を究明する書。

『入門 哲学としての仏教』

竹村 牧男／著 講談社 (2009)

実体を否定する縁起と無我、意識下の世界を究明する唯識思想。現代哲学を先取りした仏教思想の本質を、第一人者が解き明かす入門書。

※すべて京都府立図書館で所蔵しています。

